

■■■■■■■本社 ■■■部 ■■■■■■ 様

#### 前略

突然の手紙と文書を郵送しまして申し訳ありません。私は、静岡市在住の杉村和高と言います。

まず、この手紙と10頁もの資料をお送りした訳を説明します。私は、個人的な理由から、長年に亘り、河川上流中流の土砂流下と堆積を観察し考察してきました。その研究の対象としたのは地元の安倍川水系や各地の水流でしたが、それら幾つもの水流を観察し考察することにより、近年に至って河川上流中流の問題のありかがおおよそ把握出来たと思えるようになりました。そして、その問題が単に個人的好奇心の範疇にとどまるものではなく、治水問題と自然環境問題に関わる公共の重要な課題である事にも気付きました。そこで、研究の成果をWEB上に掲載し、また、少ないとは言えない人数の関係者の皆様にもお知らせして来たのです。

ところが、残念な事に、それら関係者の皆様にはほとんど何らの影響を及ぼしていないようです。これには、WEB上に掲載した内容にもお送りした手紙にも共通した欠点があった可能性も考えています。

このような事情から、先日「第7回安倍川総合土砂管理計画フォローアップ作業部会」の委員の皆様へ欠点を改めた手紙を新たにお送りしたところです。同封した資料は11人の委員の皆様へお送りした手紙と全く同じで、それまでの欠点であった具体性の欠如を克服したものになっているはずで、ですから、この手紙も近いうちにWEB上に公開するつもりです。

この組織は、会の名前の通り、安倍川で流下し堆積している土砂の問題について総合的に計画立案する会議であり、安倍川のみならず三保半島まで続く静岡海岸の回復についても計画実行している組織です。ところが、この会の会議は当初より7年も経過しているにも拘わらずほとんど成果を得ていない状況と言えます。ですから安倍川の自然破壊は年ごとに酷くなるばかりで、洪水の可能性も年々増大しています。それらの詳細は資料をお読み頂きたいと思えます。

さて、上流中流の治水と自然環境の問題は、自然科学や土木技術の問題である以上に極めて政治的な問題でもあるのです。日本中の多くの河川は国土交通省の管理の元にあります。中小の河川ではその管理は地方自治体に任されていますが、その実際は国土交通省の定めた法律や規則に従う必要があります。ですから、各地の実務組織の自主的活動もほとんど制約されています。

一方、私の考えでは、荒廃した各地の上流中流の治水と自然環境を取り戻すためには従来の考え方と方法を改める必要があるのです。ですから、現場でより良い方

法を新たに考案し実行しようとしても、それが旧来の法律や規則に沿ったものでない限り実行不可能なのです。

これらを言い換えると、荒廃した上流中流の治水と自然環境の問題は、すべての国民に共通した重要な問題であり、多くの国民に実情を知って頂く必要があります、現在の方法が良いのか或いは新たな提案が正しいのか全て国民の判断を要する問題であると言えます。つまり、これは極めて政治的な課題です。

しばらく前、■■様の対談を読みました。その中で、以外に思ったのは、■■様が「特ダネ」について力説していた事です。もし、■■さまが、この問題を誰よりも早くに報道する事ができれば、それは飛び切りの「特ダネ」になる可能性があるのではないのでしょうか。

■■様には過去に3回手紙をお送りしています。2回は新聞社宛で1回は出版社編集部気付で、でも、何らのご返事は頂けなかったのです。

しかし、それらの事を後悔する必要はありません。と言うのも、私は、他の新聞社や雑誌社にも幾つもの手紙をお送りしています。でも、それらの皆さんも誰一人としてお返事を頂けなかったのです。しかし、今度はこれまでとは違う事が予想されます。そんな訳で、先ず最初に■■様に手紙をお送りする事としました。

詳細は、お送りした資料と、それにも記述しているWEB上の記載を、お読み頂いてご判断下さるようお願い致します。

WEB上の掲載頁は、「河川上流中流の土砂流下と堆積の規則性を考える」です。  
( <https://keiryuu.sakura.ne.jp/index.html> )

問題の全体を記述しているのは「河川上流中流の土砂流下と堆積の規則性を考える」の「まえがき」から「第7章」までですが、これは全体で200頁余ありますからお読み頂くには少しの困難があるでしょう。

「河川上流中流の現状とその回復」は最近の掲示で「砂防堰堤」と「コンクリート護岸」の問題に限り記述し、多数の写真と地図も掲載しています。

なお、お送りした資料に記載の「第7回安倍川総合土砂管理計画フォローアップ作業部会」の資料は、「国土交通省静岡河川事務所」のHPに掲載されています。

敬具

2022年■■月■■日

■■■■ ■■■■  
■■■■■■■■ ■■■■■■■■ ■■■■

杉村和高

コメントの追加 [和高1]: